MITSUBISHI ELECTRIC

Changes for the Better

店舗・事務所用パッケージエアコン
スリムエアコン

2025-10

20th Anniversary ズバ暖スリム

業界をリードし続けるズバ暖の歩み

三菱電機の燃焼系暖房からの撤退が間近に迫り、静岡製作所では前例のない寒冷地向けエアコンへの挑戦が始まりました。そしてお客様の声に真摯に耳を傾け、設計・品質・営業が一丸となって課題に取り組み、数々の苦難の末に「ズバ暖スリム」が誕生しました。外気温が−25℃にも達する極寒地や豪雪地帯でも機能する、燃焼系暖房に代わる新しい「暖房機」となりました。

外気温−25℃での使用を可能にした、「フラッシュインジェクション回路」

寒さの厳しい北海道ではヒートポンプエアコンによる暖房は不向きと考えられていました。しかし「ミスタースリム」は果敢に挑戦し、「フラッシュインジェクション回路」と数々の試験の末、ついに商品化を実現しました。「ズバ暖スリム」と名付けられたこのモデルは、低外気温に液冷媒をリニア膨張弁で最適分配し、Heat Inter Changeカイロで熱交換を行うことで、燃焼バーナー不要の高い暖房能力を実現し、さらに幅広い地域での運用が可能になりました。

「ズバ暖」の可能性を見出した「キタキツネ大作戦」

非冷媒式熱インバーター機の暖房性能を、北海道に浸透させることを目的として展開された「キタキツネ大作戦」。実測データに基づき、「−15℃以下での運転」・「吹出温度45℃以上」・「素早い立ち上がり」の3点に訴求のポイントを絞り、短期間のチラシの制作と投入で大きな成功を収めました。この成功が、エアコンのさらなる暖房ニーズを引き出すことになり、「ズバ暖」シリーズ開発の道標となりました。

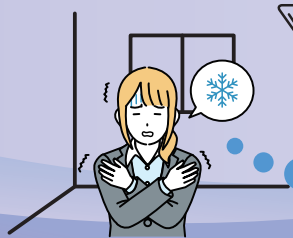
寒さの厳しい北海道旭川市で、高い能力を実証

業界初の「ズバっとデフロスト方式」で霜取時間を短縮。無駄な霜取をせずに暖房時間を延長することで、快適性が向上しました。外気温が0℃付近でも、最大約150分の連続運転が可能になりました。

おかげさまで、ズバ暖スリムは20周年を迎えました

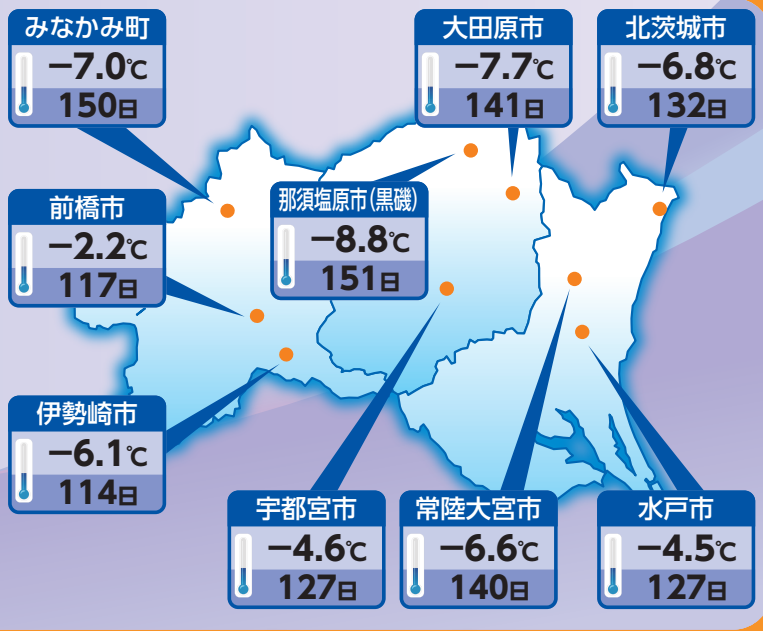
北関東のみなさま!

冬場の暖房にお悩みありませんか?



都市名
最低気温
最低気温−7℃~5.5度の日数(霜が付きやすい温度帯)

外気温が0℃を下回ると、暖房の効きが悪くなる…



2024年1月1日~2024年12月31日
出典:気象庁ホームページ「過去の気象データ検索(http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php)」。
掲載されている気象データは2025年10月現在のものです。過去にさかのぼって修正される場合があります。

外気温0℃以下でも暖房能力をキープ※1できるズバ暖スリムがおすすめ!

※1:着霜を考慮しない場合の能力(ピーク時)。暖房最大低温能力が定格暖房能力より低い一部機種は、暖房最大低温能力を維持します。

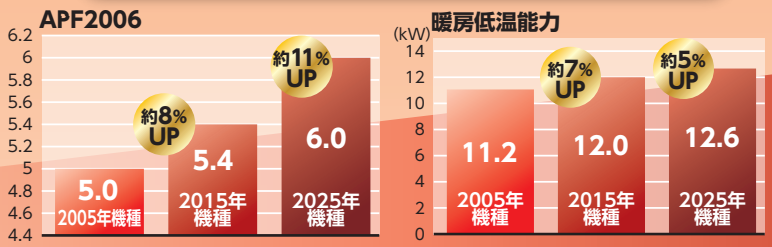
寒い冬もしっかりあたためる

ズバ暖スリム なら 北関東 でも一年中快適に！

ズバ暖スリムは、誕生から20年の間でAPFと暖房低温能力の向上に成功。
極寒地や豪雪地帯でも機能する、燃焼系暖房に代わる新しい「暖房機」として、業界をリードし続けています。

2005

ズバ暖スリム 20年の進化

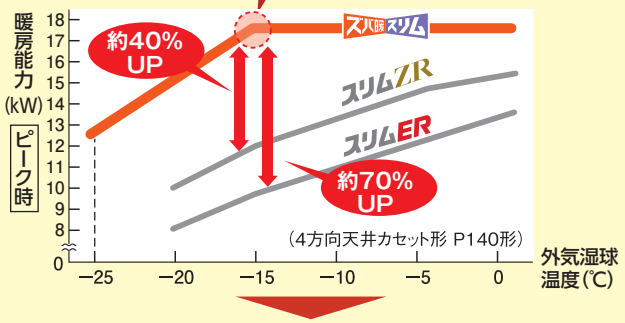


＊2005年機種（MPLZ-HRP80BED）・2015年機種（PLZ-HRP80EH）・新型機PLZ-DHRMP80H5の比較。

2025

1.高暖房能力であたたかい！〈DHシリーズ/Hシリーズ〉

外気温−15℃まで暖房能力を維持！

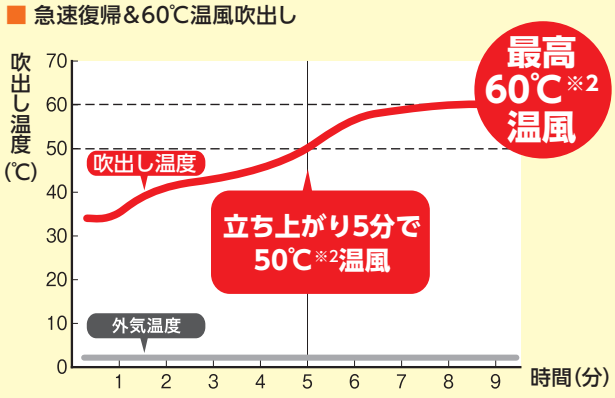


標準モデル（スリムZR/ER）と比較し、圧倒的な暖房能力を発揮。
外気温−25℃まで暖房運転に対応し、外気温−15℃まで能力をキープするため、寒冷地の冷え込む冬にぴったりです！

＊ズバ暖スリム PLZ-HRMP140HF5、スリムZR PLZ-ZRMP140HF5、スリムER PLZ-ERMP140HE5における比較。

最高60℃の高温風でスピーディーな立ち上がり！

■ 急速復帰＆60℃温風吹出し



※2:室温10℃（乾球）・外気温2℃（乾球）/1℃（湿球）、PLZ-HRMP160HF5、風速:強にて。暖房10℃設定で終夜運転し、暖房24℃に設定温度を変更した場合（当社試験室による結果）。

安心の暖房性能

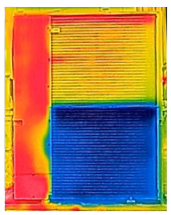
- 外気温 **−25℃** まで暖房運転可能
- 外気温 **−15℃** まで定格暖房能力キープ
- 最　高 **60℃**※2 温　風

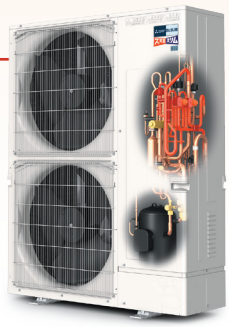
2.霜取り中でも、あたたかさが途切れない 極モデル〈DHシリーズ〉

業界初※3、外気温−10℃まで霜取り中でも吹出し温度約45℃をキープ※4するため、あたたかさが途切れません※5。
寒冷地の皆様に、さらなる快適なあたたかさをお届けします。

※3：2022年1月31日発表、当社調べ。寒冷地向け店舗・事務所用パッケージエアコンにおいて。室外熱交換器を二分し、暖房と凝縮潜熱を用いた霜取りを同時に行う技術。
※4：室内23℃（乾球）、外気温2℃（乾球）/1℃（湿球）、PLZ-DHRMP140HF5、風速:自動、設定温度:24℃（当社試験室による結果）。ただし室温や外気温が低い時、または外気湿度が高く着霜量が多い時など使用環境によっては、吹出温度45℃にならない場合があります。
※5：24時間連続して暖房運転が出来ることを確認。機種選定が適切でない場合や開放空間などで使用した際に、通常の霜取りに入る場合があります。

熱交換器を上下に分け、半分は霜取りをしながら、残り半分で暖房運転を続けます。





三菱電機株式会社　冷熱システム製作所（静岡）〒422-8528　静岡市駿河区小鹿3-18-1

■スリムエアコンのお求め、ご相談は当店へ。

この印刷物は、2025年10月の発行です。なお、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。
製品の色は、印刷物なので、実際の色とは若干異なる場合があります。
静PAC-2509-0013

2025年10月作成